

令和7（2025）年度ペアレント・サポート・プログラム

学校が子どものころを育てるために家庭と分かち合いたいこと
～特別支援教育の立場から～

令和7（2025）年11月19日（水）

柏崎市教育委員会 学校教育課

指導主事 小林 圭介

（特別支援教育担当）

本日の内容

- 1 15:30～15:40 特別支援教育について
- 2 15:40～15:50 学校・支援機関との連携について

本日の内容

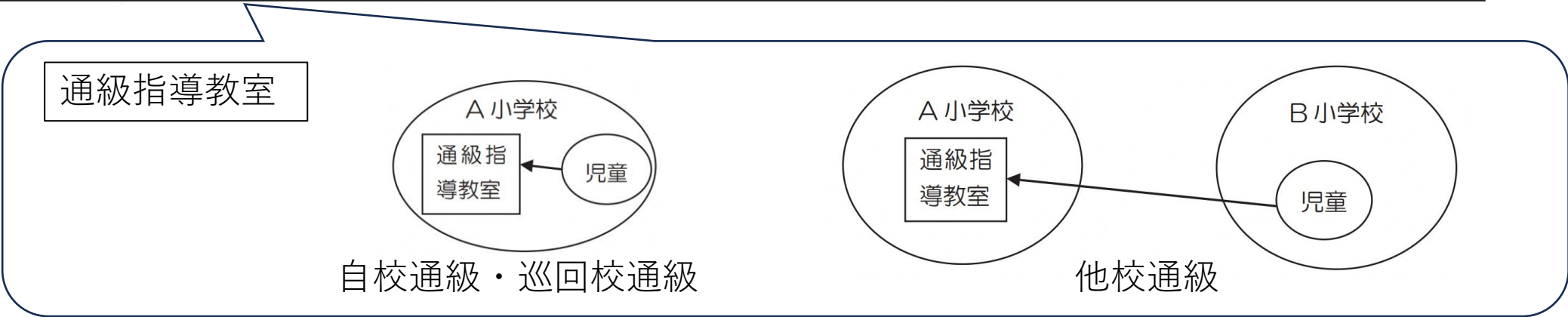
- 1 15:30～15:40 特別支援教育について
- 2 15:40～15:50 学校・支援機関との連携について

特別支援教育とは（定義）

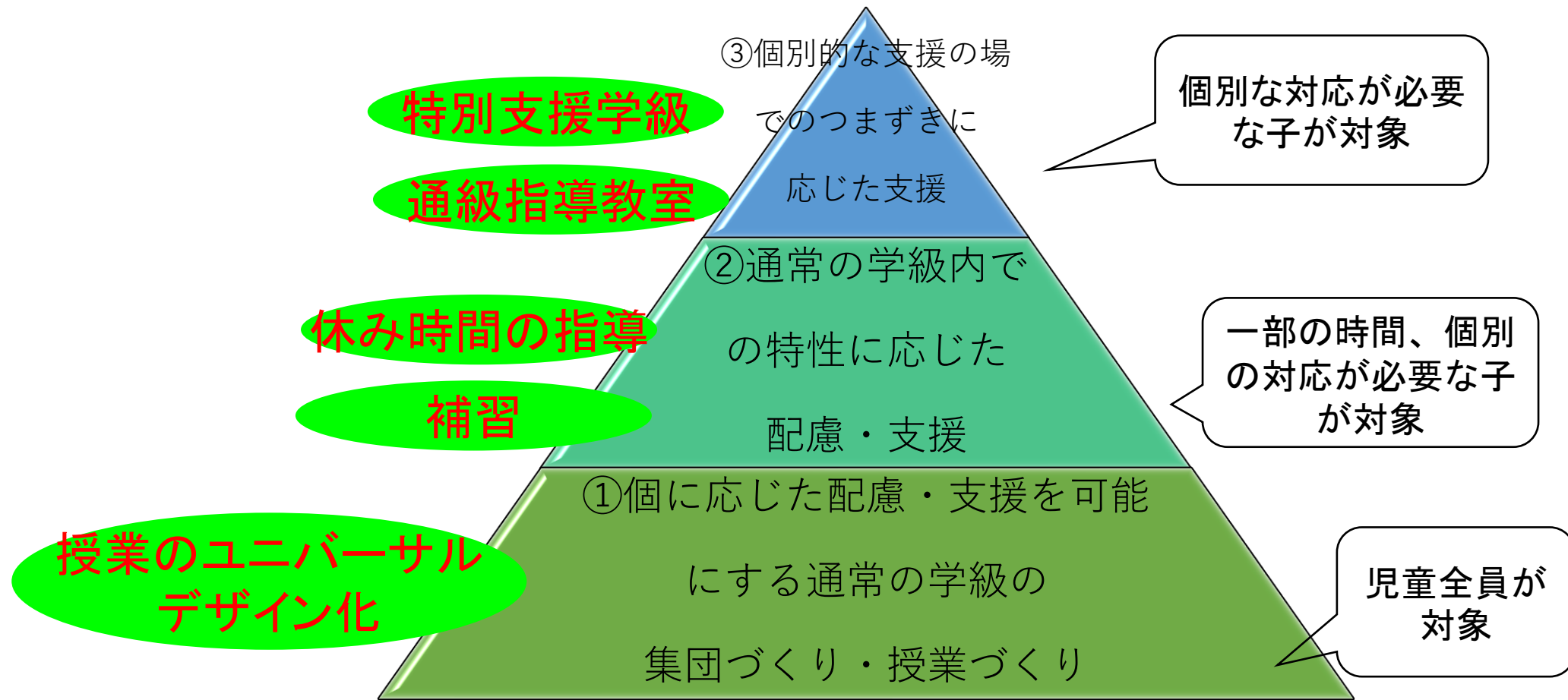
特別支援教育は、障害のある幼児児童生徒の や に
向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一
人の を把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の
困難を 又は するため、適切な指導及び必要な支援を行
うもの。

通常学級・特別支援学級・特別支援学校の形態

	通常学級	特別支援学級	特別支援学校
クラスの人数	小学1～2年→32人 小学3～6年→35人 中学1～3年→35人 編成	・ 1 学級 8 人以下の編制	・ 小、中学部は 1 学級 6 人以下の編制（2 つ以上の障害を併せ有する場合は 3 人以下）
授業形態	・ 学級単位の授業が一般的で、おおむね一斉指導	・ 交流学級（通常学級）での授業と少人数や個別での授業を組み合わせている。	・ 特別支援学級以上に個別の課題に合わせた指導が可能である。
授業内容	・ 学年に応じた教科書の内容を中心に指導する。	・ 学年に応じた教科書や、児童生徒の実態に応じた内容	・ 児童生徒の実態に応じた学習内容
担当教員	・ おおむね学級を 1 人の教師が指導する。	・ ほとんどは担任 1 人で対応し、介助員等が配置されることがある。	・ 複数担任制 ・ 特別支援学級に比べて教員数が多い。



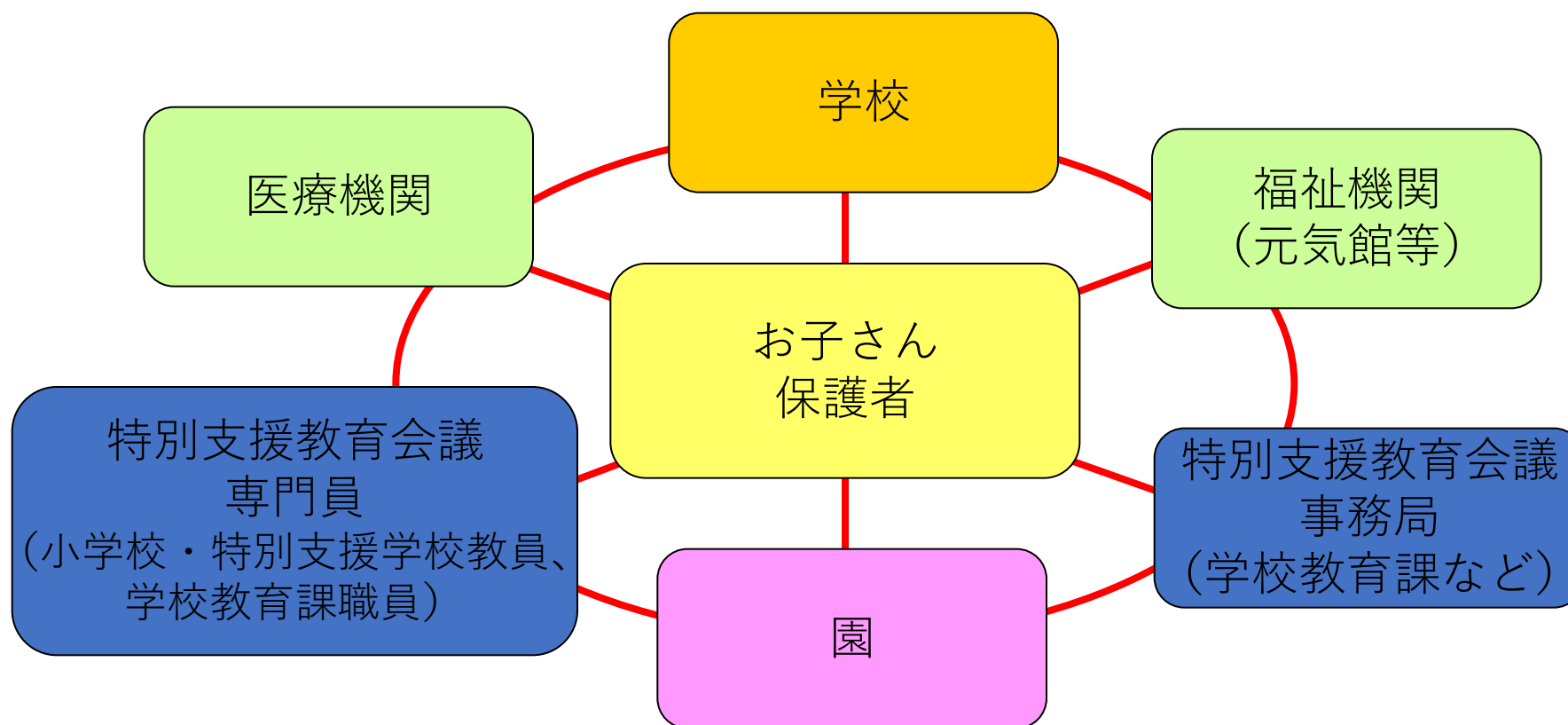
通常の学級に在籍する子どもへの支援の順序



障害名で学びの場は決まらない。
適切な支援とその結果で決まっていく。

学びの場を決める「就学相談」

- **お子さんの力が最も伸びる** 学びの場と支援方策を、保護者と一緒に相談していくこと。
- **本人・保護者の意向は最大限尊重** される。
- 相談はいつでも実施可能。





- | | |
|-------|-------------|
| ①逃避 | 「とにかく逃げたい」 |
| ②注意喚起 | 「みてみて、かまって」 |
| ③物の要求 | 「ちょーだい」 |
| ④自己刺激 | 「安心、きもちいい」 |



行動問題への対応のポイント

○環境調整（人的・物的）

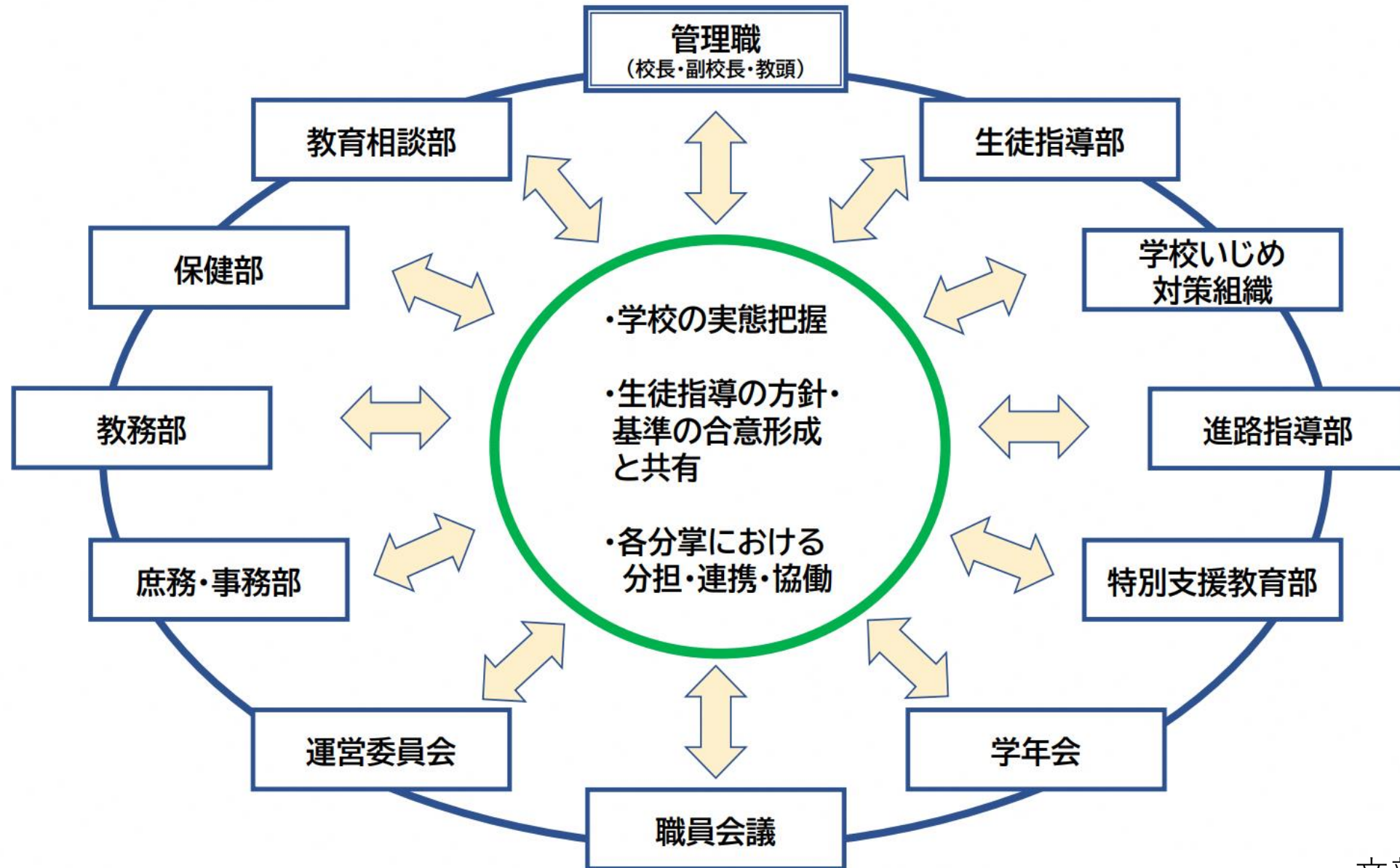
○不適切行動には短く指摘＋やるべきことを教える＋「ありがとう」「できたね」で終わる

○適切行動が生起した時と不適切行動が起こっていないときにプラスのフィードバック

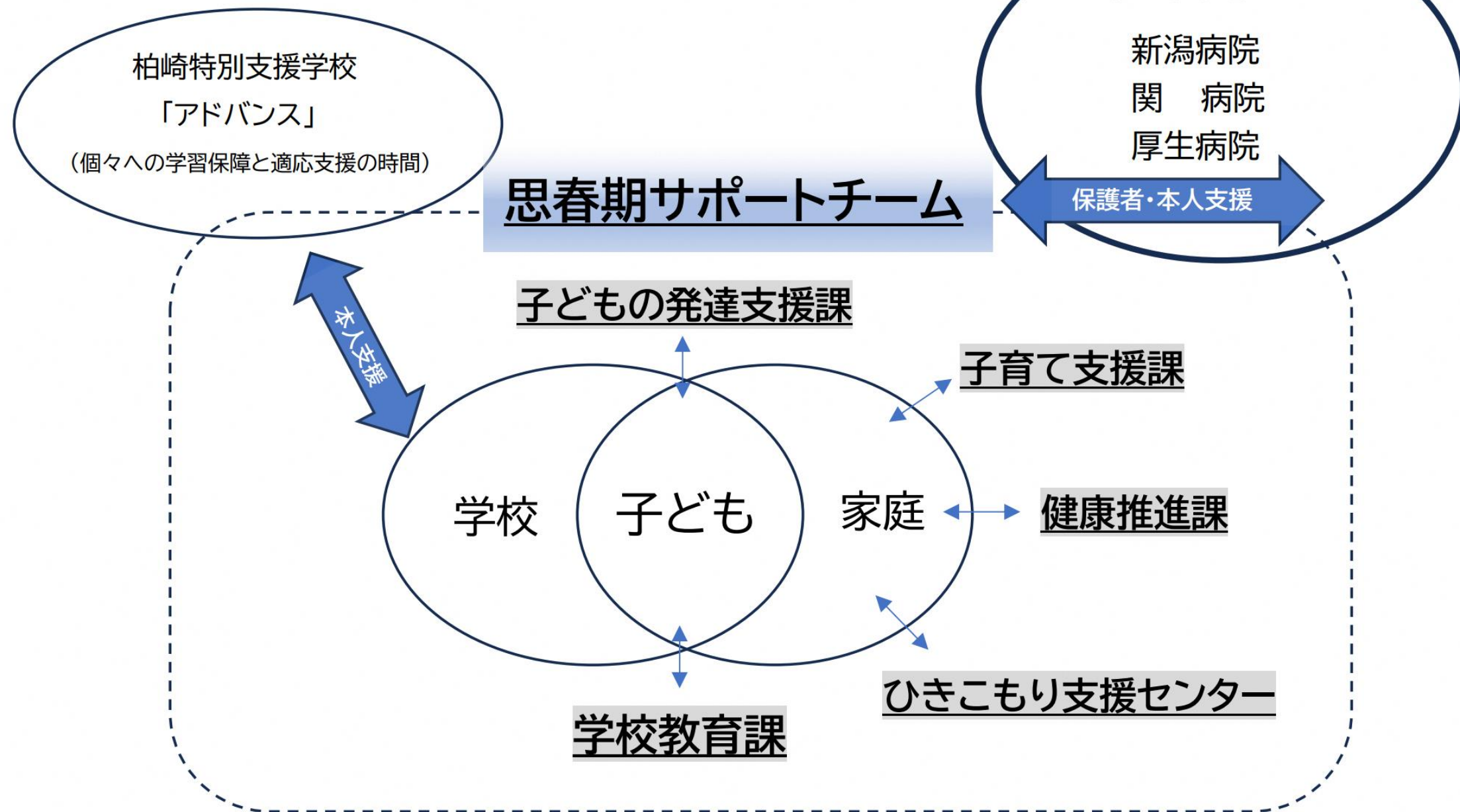
本日の内容

- 1 15:30～15:40 特別支援教育について
- 2 15:40～15:50 学校・支援機関との連携について

チーム学校における学校組織



柏崎市の小中学生を支える「思春期サポートチーム」



学校と保護者をつなぐ「個別の教育支援計画」 「個別の指導計画」

個別の教育支援計画

(例)

- ・ 診断や諸検査の結果
- ・ 関係機関
- ・ 学校生活上の困難さ
- ・ 本人、保護者の教育的ニーズ
- ・ 卒業後の進路
- ・ 教師の願い

など

個別の指導計画

(例)

- ・ 実態
- ・ 長期目標
- ・ 配慮事項
- ・ 短期目標
- ・ 指導方法、指導場面
- ・ 評価

など

子どもを中心に大人の「応援団ネットワーク」をつくりましょう

集団生活でのスキル…学校の先生など

子どもの個人のスキル…特別支援学級・通級の先生、療育の先生など

子どもの発達状況…医者、心理士（師）など

子どもの心、保護者の心…スクールカウンセラー、心理士（師）など

機関同士の連携…学校の管理職、特別支援教育コーディネーター、相談支援専門員など

西木(2024)

いつでも相談できる人や機関はありますか？